

## 水性反応硬化形エマルションペイント

## 水性セラマイルド 5分つや

系 統 水性反応硬化形エマルションペイント

適用規格 JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント 1種

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

## 特 長

- 1) 1液タイプ、水性塗料で臭気が少なく、取扱いが容易です。
- 2) 仕上がり肌、肉持ち感に優れ、優雅でシックなつや消しの仕上がりが見られます。
- 3) 速乾性
- 4) 超低VOC(0.3%以下)、超低臭
- 5) 抗菌性
- 6) 防カビ性
- 7) 易汚れ除去性
- 8) 透湿性
- 9) ヤニ止め性
- 10) 鉛クロムフリー
- 11) 防火材料認定品 (JASS18の仕様に準拠)  
NM-8585 (塗料塗装/不燃材料)  
QM-9816 (塗料塗装/準不燃材料)  
RM-9364 (塗料塗装/難燃材料)
- 12) F☆☆☆☆表示製品です。

## 塗料性状

|    | 項 目                      | 内 容       |
|----|--------------------------|-----------|
| 1  | 荷 姿                      | 4kg、16kg  |
| 2  | 混 合 比                    | —         |
| 3  | 色                        | 白及び各色     |
| 4  | つ や                      | 5分つや      |
| 5  | 仕 上 が り 感                | 平 滑       |
| 6  | 塗 料 比 重                  | 1.30 (白)  |
| 7  | 溶 剤 比 重                  | 1.00 (上水) |
| 8  | 加 熱 残 分                  | 52% (白)   |
| 9  | 劇 物 表 示<br>(品名・含有量)      | —         |
| 10 | 労 安 法 上 の<br>表 示 有 害 物   | —         |
| 11 | 有機則/特化則                  | —         |
| 12 | 消 防 法 に よ る<br>危 険 物 区 分 | 非危険物      |
| 13 | 硬 化 剤 の 成 分<br>に よ る 区 分 | —         |

(注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

## 塗装条件

| 塗装方法                            | はけ    | ローラー  |  |  |  |
|---------------------------------|-------|-------|--|--|--|
| 希 釈 率                           | 5～15% | 5～15% |  |  |  |
| 標準所要量<br>(kg/m <sup>2</sup> /回) | 0.13  | 0.13  |  |  |  |
| 希 釈 剤                           | 上 水   |       |  |  |  |

 (注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

## 塗装間隔

| 温 度     |     | 23℃ |  |
|---------|-----|-----|--|
| 項 目     | 最 短 | 2時間 |  |
|         | 最 長 | 7日  |  |
| 使 用 時 限 |     | —   |  |

## 主な適用素材

コンクリート、モルタル、木部、石膏ボード、ケイカル板

## 主な適用下塗塗料

 EPシーラー、ストップシーラー、エコカチオンシーラー、  
アレス水性ケイカルシーラー、アクアグランドコートⅡ

## 主な適用中塗塗料

## 主な適用上塗塗料

## 使用上の注意事項

- 1) 開缶後よくかきまぜて、中身を均一にしてから使用して下さい。
- 2) 性能を発揮する塗膜を形成するのに必要な最低造膜温度があり、5℃以下、高湿(80%RH以上)での塗装は避けて下さい。
- 3) ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますので、ご注意ください。
- 4) 黄、赤、青、緑系の冴えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目と共色で塗装して仕上げることをお勧めします。
- 5) 濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
- 6) 降雨や結露等により塗膜表面に粘着物が発生する恐れがあります。著しい結露が予想される場合は、溶剤系塗料での施工をお勧めします。
- 7) ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向で揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- 8) 防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理をしてから塗装してください。
- 9) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS (安全データシート)を参照して下さい。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。